



寺子屋、福先生のつづやき
子育てのライフステージ

13

少年前期編

家庭教育支援ラボ 寺子屋「福」主宰 龍福 史朗

ステージ II 少年前期(6〜12歳) 人間力の土台を築け!

いよいよ義務教育のスタートです。このステージ(小学生)では知、徳、体をバランスよく学習し人間力の基礎を身に着けます。学校では国の定めた指導要領に基づき計画的に『生きる力』を養う人間教育を実施します。保護者の皆様やご家庭は、こうした学校教育を補完する重要な役割を担っています。

1 『より良い社会生活に欠かせない人格(知・徳・体)の基礎を身に付ける』

小学校では国語や算数など様々な教科の学習をしますが、道徳も初めて体系的に学習することになります。しかも、道徳はすべての教科の中で取り扱うこととなっており、言わば教科学習の最上位にあると言つてよいでしょう。道徳とは社会規範やルール、及び人間としての品性や正義、思いやりなどの素養を意味しますが、これが教育の第一義的な目標でもあるのです。

余談になりますが、アマゾンの創業者、ベゾスは、祖父から「賢くあるより優しくあるほうが難しい」と忠告され、豊かな心は知識に優先することを学び、このことが事業を大きく成長させる原動力になったそうです。小学校教育の最も大切な目標はここにありませう。保護者の皆さんはもちろん、教育に携わる方々にはぜひとも『賢さより優しさ』を小学校時代の最優先課題としていただきたいと思います。「・・・は賢い子だね」と褒めることも大切ですが、加えて「・・・は優しい良い子だね」を忘れないでください。学校ではこのような「良い子」を育てるために左記(表1)に示す内容の指

導を行っています。これらは前述したように学校教育の最も重要な目的の一つでもあり、通知票の右側に「行動や性格の記録」の評価項目として記載されています。

2 自分探しに出かけよう!個性・夢・好きな事・夢をたくさん見つけよう

6〜12歳の成長は驚異的です。小1の担任は卒業式の子どもの姿に絶句してしまいます。まるで別人のようだからです(親は毎日観ているから、驚異的成長に気付かない)。

子どもは入学と同時に自主自立の欲求が高まり、何でも自分でやろうとします。また、四年生ともなると社会性が高まり、社会の一員としての自覚や友人との力関係をわきまえて行動するようになります。そして6年生にもなると、社会人としての知識も大方身に付き、大人の仲間入りをします。個人差はありますが、見た目も中身も一気に大人びてきます。このような成長過程で「自分は果たして何者なのか」を探し続けています。言葉を換えれば小学生は『自分探しの旅人』であるといつてよいでしょう。

少年前期では、以前に取り上げた「子育ての悪しき習慣(過干渉・きめつけ・比べる・けなす・こだわる)」を封じ込め、自由でおおらかな環境の中で育てることが肝要です。旺盛な興味関心、自主自立の精神、自信、個性の発見、多様な価値観は、こうした安心感に満ちた環境の中でこそ花開くものだからです。

次回は人生を左右する夢の懸け橋、少年後期(中学生時代)を取り上げます。

わが子の能力を最大限に発揮させる子育ての極意

表1

学校教育の最も重要な目的とされる指導内容(一部)

- 1 「主として自分自身に関する事」基本的な生活習慣、自主自立、責任感など
- 2 「主として他の人とのかかわりに関する事」寛容、協力性など
- 3 「主として自然や崇高なものとのかかわりに関する事」審美眼や畏敬の念など
- 4 「主として集団や社会とのかかわりに関する事」校正、公共心など

家庭教育支援ラボ 寺子屋「福」



宇都宮市 滝の原 1-1-1
株式会社ダワ内
Tel:028-633-4534
http://kosodateclub753.com